

キッズサポート部 会員からのメッセージ

キッズサポート部のメンバーが入会したきっかけや、読み聞かせ活動への熱い思いを語ります。きっかけも思いも様々ですが、子どもたちにおはなしの楽しさを伝えたい気持ちは全員共通です。ご興味ある方、見学もできますので、お気軽にお問い合わせください。キッズサポート部一同お待ちしております！！

ボランティアの入会のきっかけは、草加に越して来て図書館が近くにあり、活動内容に共感したからです。

学生時代の友人が児童学部で絵本をととても大切に、自分用と読み聞かせ用の2冊を購入していた事を思い出し、久しぶりに絵本に触れてみました。しかし子育て中、読み聞かせはしていましたが、子どもは読書が大好きで一人読みが早かったため、長いブランクがあり自信はありませんでした。又空いていたグループが乳幼児対象だったので、選書、手遊びなど戸惑うことが多かったと思います。独自に都内や近隣の大学の講習に参加し、少しずつ乳幼児対象の読み聞かせに慣れてきました。

現在の金曜日は乳幼児が沢山参加してくれ、ママたちもとても熱心でこちらも刺激を受けています。赤ちゃん絵本もとても充実してきているので本を選ぶ楽しさもあり、触れ合い遊び・手遊びと親子でスキンシップをし、楽しむ時間にしたいと活動しています。そして、私自身にも思わぬ効果がありました。絵本の魅力を感じ、大人のための絵本にも目覚めた事です。

S.O

子どもたちの笑顔に励まされ

私の定年退職が近づいても今後のことが決まらないでいたら、同僚が「知り合いに読み聞かせの勉強会をしている人がいるよ」と教えてくれました。その方が今は亡き草野直行先生だったのです。勉強会だけに参加するつもりで図書館を訪れました。

ところがキッズの班に入って活動しないと勉強会には参加できないとのことでした。

すぐに子どもたちの前で読むのは無理と半年待ってもらい、まず勉強会に参加しました。

6ヶ月が過ぎ、読み聞かせデビューでは喉がカラカラになったのを今でも鮮明に覚えています。勉強会では先生の指導を録音して練習しました。それが習慣になり、読み聞かせの練習でも録音して聞き直すようにしました。

キッズに入って十数年経ちましたが、今でも読み聞かせる絵本（予備も含めて）を録音しながら練習しています。

子どもたちの笑顔と目の輝きに励まされながら読み聞かせを続けたいと思います。

によろりんさん

子どものころから本を読むのが好きで、また気に入った文章や詩を声をして読むのが好きでした。L.V.S.に興味を持ち、ボランティアガイドに参加して、キッズサポート部の活動を知った時に是非やってみたいと思いました。

最初のころは自分が読みたい絵本を選んでいて、聞いてくれる子どもたちのことはあまり考えていなかったように思います。今考えると冷や汗ものです。それが勉強会に参加したり先輩の会員の方に色々教えてもらうにつれ、どんな絵本を選んだらいいか、話し方やページのめくり方、どうしたら楽しんでもらえるか、ということに意識がいくようになりました。

実際に読み聞かせをするたびに、ああすればよかったなどと思うことしきりですが、それでも子どもたちがお話の内容に反応してくれたりすると、この絵本を選んでよかったなと思います。

また、私は日本や世界の昔話が好きなのですが、今の子供たちに面白いと思ってくれるか不安でしたが、意外と面白そうに聞いてくれます。これからもいろいろなお話をしていきたいと思います。

T. I



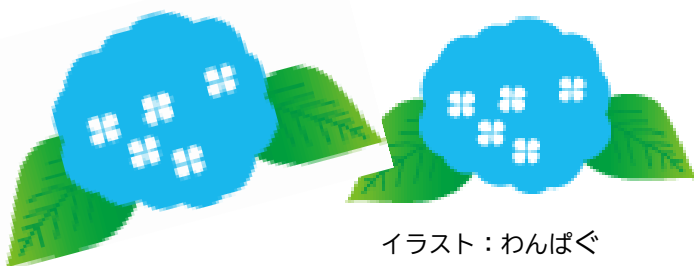
ちいさいおうちに住むがまくんのつづやき

今年は桜を長く楽しめましたね。通勤途中や職場の桜を愛でることができました。でも何か忘れてるような・・・

あー！綾瀬川沿いの桜並木を見逃した！！ 何ということでしょう。来年は絶対に見逃さないぞ。

ツツジやサツキが終わりに近づき、いよいよ初夏の植物や生き物に出あえます。子どもたちは生き物や植物に興味津々ですよ。

ちいさいおうちに住むがまくんは昆虫など捕まえるのは少々苦手ですが子どもたちがワクワクする、自然をテーマにした本に出会いたいです。



イラスト：わんぱぐ

入会・見学のお問い合わせは

こちらから →

